

## 2001年4月の大気大循環と世界の天候

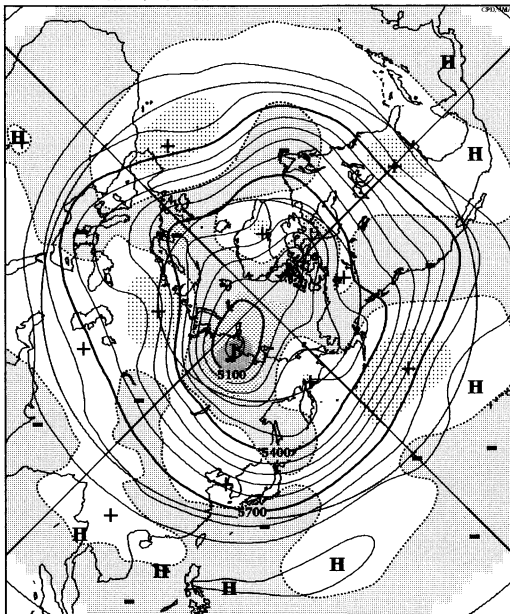
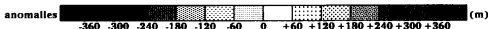
### 大気大循環

北半球500 hPa 高度では、極渦は平年よりも強く、中心は中央シベリアの北部に位置し、北極海から中央シベリアでは負偏差が分布した。一方、ロシア西部では明瞭なリッジが見られ正偏差となり、中央アジア、中国北部でも正偏差が分布した。太平洋中部から東部では正偏差、北アメリカ西部では負偏差、北アメリカ南東部では正偏差が見られ、このような偏差分布はラニーニャ現象時の春に見られやすい偏差分布である。大西洋東部から地中海西部にかけては正偏差、ヨーロッパ北部から東部では負偏差となった。

対流活動はマレー半島、フィリピン南部、インドネシア、オーストラリア北部で平年より活発で、日付変更線付近では平年より不活発となり、引き続きラニーニャ傾向の分布であった。

200 hPa 速度ポテンシャルの分布図を見ると、平年ではニューギニア島の東側にある大規模発散域の中心は、平年より15度程西に偏っていた。

SOI (南方振動指数) は+0.2 (暫定値) で、平年並の値に近づいた。



2001年4月の北半球月平均500 hPa 高度および平年偏差

等値線間隔は60 m, 偏差パターン間隔は60 m, 平年値は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。

### 世界の天候

#### ① 本州から中国東北区の少雨

#### ② インド南部の多雨

パキスタンからマレーシアにかけて月降水量が多く、インド南部では異常多雨となった。

#### ③ ヨーロッパの多雨

フランスでは洪水により1200軒以上が浸水したほか、前年10月から本年4月までの降水量が、1873年からの観測史上最多となったと報じられた。

#### ④ スペインの高温・少雨

#### ⑤ 米国東部の少雨

カナダ西部や米国東部、カリブ海周辺で月降水量が少なく、米国東部で異常少雨となった。

#### ⑥ 米国中西部の多雨

米国中西部では大雨と融雪によるレッド川やミシシッピ川の洪水が伝えられた。

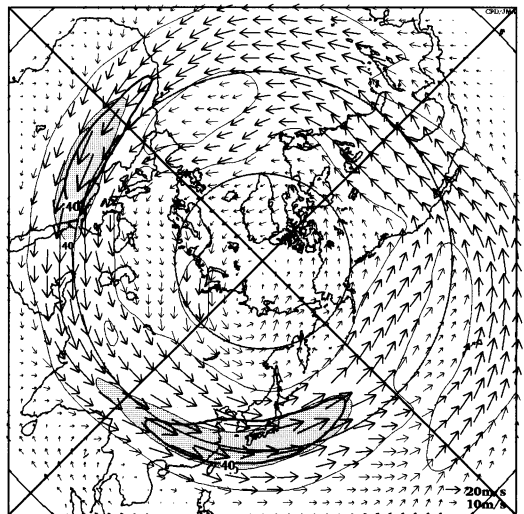
#### ⑦ 米国中部の高温

#### ⑧ ミクロネシアからインドシナ半島の高温

#### ⑨ オーストラリア南部とニュージーランドの少雨

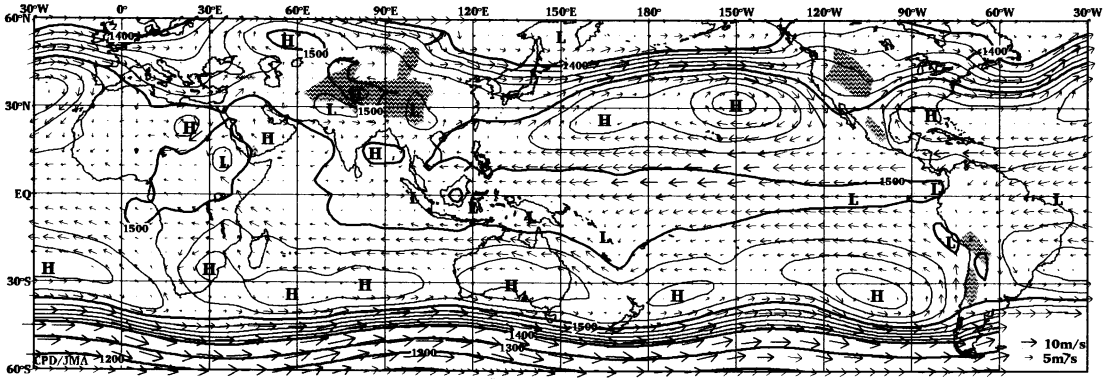
ニュージーランド東部では100年間で最悪の干ばつとなっていると報じられた。

(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 牛田信吾)

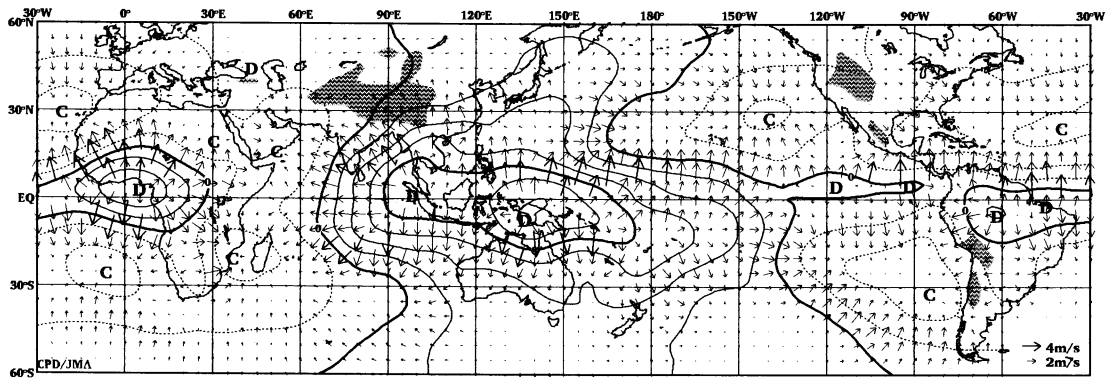


2001年4月の北半球月平均200 hPa 風速および風ベクトル

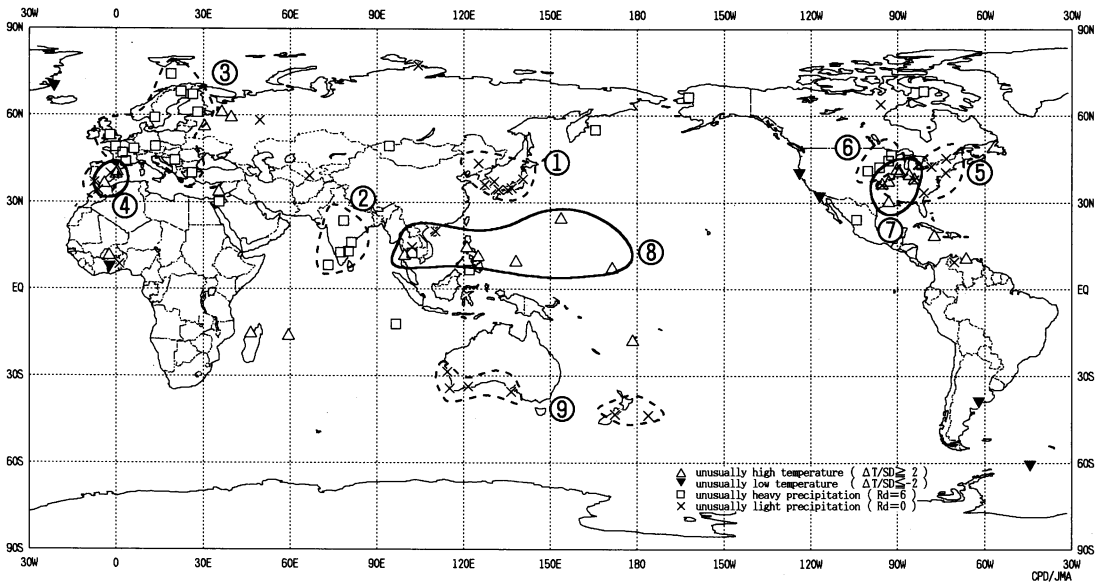
等値線間隔は20 m/s. 陰影部は40 m/s以上. 太実線で囲まれた領域は平年の40 m/s以上の領域を示す. 平年値は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。



2001年4月の月平均850 hPa高度および風ベクトル 等値線間隔は20 m (1400 mまでは100 m)



2001年4月の月平均200 hPa速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



2001年4月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨  
異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0. 図中の番号は本文中の番号と対応している.